

# マンション地震対応箱 MEAS

(Mansion Earthquake Action Sheet box)

## 1. マンション地震対応箱とは・・・緊急時の混乱を防ぎ、復旧工事までの羅針盤

2016年4月に発生した**熊本地震**でのマンション**管理組合の経験**を基に熊本県マンション管理組合連合会と福岡大学工学部古賀一八教授が共同で作成しました。

震災直後から1週間・3か月・半年後に必要な管理組合としての活動を包括的に実践的で、必要にして十分な内容を盛り込んでいます。



## 2. 内容は2つの柱で構成

- (1) 地震直後の混乱した中で**管理組合 = 住民が取るべき**行動指示
- (2) 初めて経験する震災からの復旧に対して、管理組合が行動すべきことや様々な課題に対しての指針と指示（復旧までのスムーズな**住民の合意形成と実行への道しるべ**）

## 3. 目立つところに置く

- マンション地震対応箱は、いつでも取り出せる目立つ場所に置きましょう！
- 内容が見えて、埃にも耐えられるようにプラスチックの箱に入っています。

## 4. 中身は？

- 地震直後を想定した**アクションカード（指示書）**が入っています。カードの指示に従えば、震災直後の混乱した中で、被害の把握、閉じこめの救助、二次災害の防止などを管理組合の理事長や役員あるいは管理員がいなくても確実に実施できます。
- 管理組合の役員を中心とした災害対策本部の立ち上げ方法、やらなければならないことの指示や災害対策本部の体制づくりなどの用紙が入っています。
- 必要事項を書き足すだけで住民への**「お知らせ」ができる貼り紙**が、入っています。必要事項を書き足すだけで行動に移すことができます。文案を考えることも印刷することも不要です。
- **罹災証明の取得**や応急修理の申請、行政や保険会社による被害判定、応急修理の手配、復旧工事の住民合意形成と工事発注など、管理組合が早期に取り組むべき事柄を、震災復旧の流れに沿って全体を見通した解説・指示を掲載しています。
- 被害状況から**工事費用概算を算出**する方法も記載してあるので、復旧工事の合意形成に有用です。復旧へ向けた管理組合の道しるべを示しています。
- 福岡大学の古賀教授が作成された**「震災を受けた鉄筋コンクリート造建築物の補修・補強に関する資料」**も別冊で入っています。

### － 問い合わせ先 －

特定非営利法人 熊本県マンション管理組合連合会  
〒860-0844 熊本市中央区水道町9-25 TEL096-351-2646 FAX096-351-2647  
E-mail : kumakanren@gmail.com

※詳細はホームページをご確認ください「熊管連」でクリック※

# 別添資料



管理組合がやるべき事、流れが一目瞭然

## 「マンション地震対応箱 MEAS」の内容

初期対応	ミッション1	近くにいる人を安全な場所に5人以上集める
	ミッション2	防災用具を集める
	ミッション3	住民を救助する
	ミッション4	二次災害を防止する
	ミッション5	非常用トイレを設置し、飲み水を確保する
	ミッション6	実行したことを掲示する
災害対策本部への バトンタッチ	ミッション7	災害対策本部を設置し、役割分担を決める（理事長）
	ミッション8	情報共有のための情報コーナーを作る
	ミッション9	住民の安否確認と連絡網の整備
被害状況調査簡易マニュアル		建物の傾きの調査方法
		危険と判断すべき事例
		構造物の損傷度の事例（写真）
震災復旧の流れ		危険度判定から復旧工事までの流れ
		震災後の管理組合の活動モデル
		地震当日にやるべきこと
		地震翌日から1週間にやるべきこと
		1週間以降にやるべきこと
		3カ月以降にやるべきこと
		地震保険と罹災証明の被災判定内容
		復旧への合意形成の方法
復旧工事方法		被災したマンション復旧工事方法
		非構造壁の補修方法と復旧金額の目安



震災被害の程度、復旧工事の概算がつかめる

## 「震災を受けた鉄筋コンクリート造建築物の補修・補強に関する資料」

元福岡大学工学部建築学科 古賀一八教授

① 震災によるRC造建築物の被害事例
② 被災RC造建築物の補修の考え方と補修・補強マニュアル
③ 被災RC造建築物の補修・補強事例